

令和2年度 江戸川区立南葛西第三小学校 学校関係者評価 報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○確かな学力 ○豊かな心 ○健やかな体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	誰も排除しないMAZEKOZEの学校 安全・安心の学校 自分がされていやなことは人にはしない子供 自ら学び向上する教師。子供の視点に立って考える教師。
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>○組織的学校の運営の充実 ○多様性尊重の取組の充実 <課題>○学力向上 ○教員の授業力向上 ○働き方改革の実践的取組		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	小中連携コーナー毎月1回更新、中学生による中学校紹介を年1回実施、小中必読書百選の選定	児童意識調査の中学進学に関する項目で肯定的評価9割以上	A	B	○必読書百選の実施、中学校紹介鑑賞等により、肯定的評価9割達成。 ●直接的な児童・生徒間交流の充実	B	・コロナ禍で制限の中、小中が連携を図り、9年間の積み重ねを計画的に実施することを希望する。	・授業や部活動体験等の児童生徒間の交流の推進及び教員間の密なる連携促進。
	多様性の尊重	個々の違いを尊重し、差別を許さない指導の徹底及び性別、性的指向、障害などの多様性を尊重する教育活動の充実	福祉を柱にした総合的な学習の時間の充実、ペアスリート、地域団体等による出前授業を実施	保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○総合的な学習の時間における系統性のある福祉学習の実施及び出前授業(3回)の実施により、肯定的評価8割以上達成。	A	・多様性に着目した活動に積極的に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	・多様性尊重(福祉)の意識を日常の授業を通して高め、根付かせていく。
	SDGs教育の推進	地域の歴史や特色を生かした海洋教育、環境教育の推進	大学教授やNGO団体メンバー、地域の人材等を講師とした授業を実施	保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○葛西臨海や環境について考える出前授業の実施(4～6年)により、肯定的評価8割以上達成。	A	・地域に根差した教育活動に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	・発達段階に応じた系統的指導の更なる充実及び定着。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT校内研修を年3回実施	教員アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査で学習に関する項目の数値向上	B	B	○ICT研修3回実施、理科や総合など各教科での活用等により、教員・児童肯定的評価8割以上。 ●教員の指導力及び児童の活用力の更なる向上。	B	・研修の一層の充実及び、子供の学びにつながる効果的な活用を希望する。	・ICT研修を通じた教員の更なる指導力向上の促進。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	校内研修を年2回実施、児童への理解教育を年1回実施	保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○校内研修・校内委員会における共通理解、朝会時の理解教育実施(2回)により、肯定的評価8割以上達成。	A	・特別支援教育への理解や指導を教員・児童に図られ、今後も取組の充実を希望する。	・特別支援教室及びことばの教室と連携したインクルーシブ教育の推進。
いざいさと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習教室を年35回実施、東京ベーンツリルの活用と検証	ベーンツリル学年平均正答率70%以上、児童意識調査の学習に関する項目の数値向上	B	C	○平均正答率が2年生で80%を超え、2～4年生で平均正答率が上昇した。児童意識調査も肯定的評価8割以上。 ●3年生以上で平均正答率70%を下回った。学年だがるに連れて正答率が下がるとの傾向がある。	B	・学力を上げるための実践的取組を計画的に実施している。更に個に応じた指導の充実を希望する。	・授業力向上に特化した校内OJT研修の実施及び補習教室(外部委託含む)・朝学習の充実。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートを活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	・学習計画の選定及び並行読書用図書の充実 ・読書科校内OJT研修年1回及び外部講師による研修3回実施	・図書館を使った調べる学習コーナーへの参加数の増加 ・児童意識調査の読書に関する項目で数値向上	A	A	○探究的な学習の実施により、調べる学習コーナーの参加数が1.5倍増。また、学校図書館司書の連携・整備、教職員・高学年児童の読み聞かせにより、本に親しむ児童の割合増(8割以上)。 ●探究的学習につながる図書環境の充実。	A	・読書の充実及び高まりを感じる。苦手な児童への指導や配慮等、今後も取組の継続を希望する。	・読書環境の充実及び探究的な学習の系統性の明確化。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	チャレンジタイム年間35回実施、長縄大会の実施、持久走記録会の実施	児童意識調査の運動に関する項目の数値向上	B	B	○コロナ禍の中、運動量を増やす接触のない学習内能の工夫、体力向上に向けたチャレンジタイムの実施(10回) ●全国平均と比較し、学年により差があること。	B	・体力向上の計画的取組の継続を今後も希望する。	・体力テストの結果分析を含めた体育授業の工夫及びチャレンジタイムの
安全・安心の保障	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	35時間実施、ともだちプロジェクト道德授業を年1回実施、外部講師による授業年3回オリパラコーナー・掲示物の充実	保護者アンケートで肯定的評価8割以上、児童意識調査でオリパラ教育に関する項目の数値向上	A	A	○ペアスリート、デジタルアソによる出前授業3回(3、5、6年)実施、系統性のある総合学習の実施等により、保護者アンケート肯定的評価8割以上、児童意識調査数値値。 ●児童の学習成果が見られるオリパラコーナーの充実。	A	・今後も取組の継続を希望する。	・総合的な学習の時間における年間指導計画の改善及び福祉を中心とした障害者理解教育の推進。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	推進リーダー中心に校内OJT研修を年1回実施、ALTとの打合せ実施	児童意識調査の外国語教育に関する項目で肯定的評価8割以上、教員アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○研修の実施、ALTとの密な連携及び活用等により、教員の充実した授業展開。 ●教員の主体的指導の充実。	B	・今後も取組の継続を希望する。	・研修の充実、ALTの活用等教員の主体的指導の推進。
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	いじめ防止啓発デー(毎月)の設定、いじめ防止に特化した授業を年3回実施、いじめ防止対策委員会の設置	児童意識調査で差別に関する項目の数値向上、保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○いじめを含めたいじめ防止授業の実施、三小レクチャーの定着により、いじめ根絶への意識9割以上、保護者アンケート肯定的評価8割以上。 ●誰も排除しない、いじめ根絶を目指した学校づくりの更なる充実。	A	・いじめ撲滅に向けた組織的体制のもと、早急の対応効果を今後も期待する。	・校内体制の充実及び報告・連絡・相談できる職場環境の整備、早期発見早期対応に努める。
安全・安心の保障	安全・防災教育の充実	自分の生命は自分で守る「危機意識」の向上	全学年安全教室の実施 水害ハザードマップを活用した授業	児童意識調査で防災意識に関する項目の数値向上、保護者アンケートで肯定的評価8割以上	A	A	○全学年安全教室の実施、水害ハザードマップを活用した授業の実施(4年)により、児童の自助意識の向上(9割以上)、保護者アンケート肯定的評価9割。また、避難時間の減少(約60秒程度)。	A	・児童の自助の意識の高まりが感じられる。今後も取組の継続を希望する。	・安全教育の系統的指導計画及び自助共助の精神の育成。
	学校における生活指導習慣の確立	時間行動、挨拶の励行などの指針である「三小生活スタンダード」の徹底	教職員の統一した指導による生活スタンダードの定着	遅刻児童1日平均10名以下、児童意識調査であいさつ・時間に関する項目の数値向上、保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○学校の取組において保護者から約8割の肯定的評価。 ●1日平均20名弱に及び生活規律の指導強化及び家庭啓発。	B	・組織的体制のもと更なる指導の強化及び家庭啓発等、今後も取組の継続を希望する。	・統一的指導の強化及び徹底とともに、家庭や地域との連携。